



# 4月1日から 消防団組織が大きく変わります



消防団組織の改正に合わせ、団員定数を現在の四百十人から五十人削減し、三百六十人とします。

団員定数を410人へと削減

現在、村消防団は七つの分団そして十七の部から組織されていますが、改正後は各分団にコミュニティ組織単位の「隊」を新設し、その下に十七の部を配置します。

各分団にコミュニティ組織単位の「隊」を新設

これまでの7分団制  
3分団制に集約

現在の消防団は団長・副団長の下、七つの分団により組織されていますが、改正後は3つの分団に集約します。

村と消防団では、若者層の人口減少による団員確保の困難や団員の村外勤務による日中不在などの問題を踏まえ、今後の消防団組織の在り方や人員配置について、一年以上にわたり検討を重ねてきました。

昨年の十二月定例村議会で関係条例が可決され、四月一日から消防団の組織編制等が大きく変わります。主な変更点は次のとおりです。



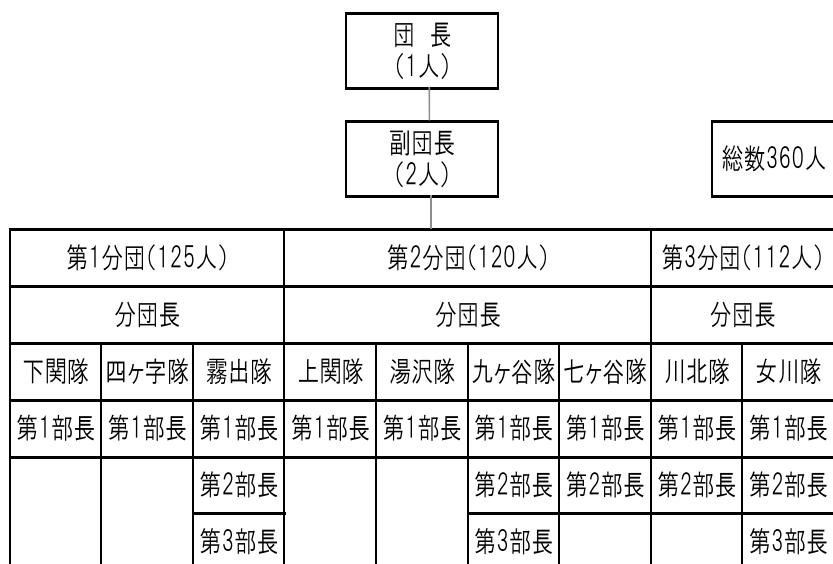
関川村消防団  
団長  
菅原  
(片貝)修

## 今まで以上に万全を期して

このたび、村の消防団組織が改正され、これまでの7分団制から3分団制となります。団員数についても50名の人員削減となります。今まで以上に万全を期して地域の防災に取り組んでいきたいと思います。

4月から、団長以下360名の新体制で頑張っていきますので、今後とも消防団活動にご理解とご協力をお願いいたします。

## 4月1日からの村消防団組織図



新幹部については、広報せきかわ5月1日号で紹介します。新設された隊の「隊長」は、これまでの「副分団長」格です。

# 「最強寒波」が襲つた今年の冬



今年は、北陸・東北地方を中心に全国的に記録的な大雪に見舞われた厳しい冬となりました。村でも、昨年十二月の中旬頃から断続的に雪が降り続いたこともあります。各地で除雪や屋根の雪下ろし作業に追われる方たちの姿が見られました。

一月に入ると、日本列島を「最強寒波」が襲い、大雪や猛吹雪により荒れた天気が続き、短時間で積雪が増えるなど、大雪の冬となりました。

関川村豪雪対策本部を設置しました。村では、今冬の大雪による雪害被害を未然に防ぎ、より一層の対応強化を図ることを目的に、二月十三日、役場内に平田大六村長を本部長とする豪雪対策本部を設置。雪害による人的被害や家屋の倒壊などについて情報収集に努めました。

昭和五十六年に気象庁が観測を開始して以来、昨冬までの記録は昭和六十一年に記録した百六十六チセイでしたが、一六年ぶりに積雪記録を更新しました。

関川小学校校庭にある気象庁の観測点は、一〇〇九年校舎改築時に前庭からグラウンド北側に移設しました。

氣象庁の下関観測地点（関川小学校）では、二月四日、最深積雪が百七十八センチ<sup>チセン</sup>を記録しました。

《参考》

# 『』 村独自の観測記録でみる昭和33年以降 の積雪記録

- ◎ 旧関小学校 228cm (S38.2.2)
  - ◎ 旧安角小学校 257cm (S59.3.13)
  - ◎ 旧川北小学校 225cm (S61.3.1)
  - ◎ 旧女川小学校 215cm (S59.3.13)
  - ◎ 旧田麦分校 376cm (S43.2.23)



### 除雪費用 例年のはば倍

12月から2月分(見込額)に支出した  
村道の除雪作業委託費は約6,300万円。  
12月分に関しては昨年の約3倍に増え  
ました。

また、消雪パイプの電気料についても、12月と1月分で約1,100万円を支出。大雪となった2月分も昨年を上回る約500万円の経費が見込まれています。今年度の除雪費予算は約1億5千万円で、昨年と比較すると35%の増。例年と比較するとほぼ倍近い予算となっています。



# 今冬の大雪による 被害状況について

(一月二十三日現在)